



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 グンゼ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3002 URL <https://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣地 厚

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小倉 誠

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	71,027	3.6	3,290	1.0	3,355	8.3	2,159	15.2
2019年3月期第2四半期	68,566	1.1	3,256	3.4	3,660	8.6	2,546	0.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,268百万円 ( 62.4%) 2019年3月期第2四半期 3,376百万円 ( 33.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	119.67	119.07
2019年3月期第2四半期	140.11	139.26

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	173,999	109,521	62.1	6,027.10
2019年3月期	169,632	111,068	64.6	6,059.06

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 107,983百万円 2019年3月期 109,506百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				110.00	110.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	4.5	7,000	4.6	6,800	4.9	4,300	5.2	239.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	19,293,516 株	2019年3月期	19,293,516 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,377,238 株	2019年3月期	1,220,318 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	18,043,690 株	2019年3月期2Q	18,173,338 株

自己株式数には「グンゼグループ従業員持株会専用信託」が保有する当社株式数を含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	10
(セグメント情報等)	11
3. 四半期決算補足説明資料	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)における日本経済は、企業業績や雇用環境の改善等を背景に全体としては緩やかな回復基調にあるものの、消費増税後の景気減速懸念に加えて、米中間の貿易摩擦や欧州情勢、新興国経済の不確実性などにより、先行き不透明な経営環境が続きました。

このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ(2017年度～2020年度)」の3年目を迎え、『集中と結集』をキーコンセプトに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」の3つの基本戦略への取り組みを進めました。

機能ソリューション事業は、半導体市場の低迷による影響を受けました。アパレル事業は、差異化商品の拡販と成長販路への取り組み強化に加え、消費増税に伴う駆け込み需要もあり、順調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は71,027百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は3,290百万円(前年同期比1.0%増)となりましたが、為替影響等により、経常利益は3,355百万円(前年同期比8.3%減)となり、前年計上した固定資産売却益の影響等から、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,159百万円(前年同期比15.2%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、ナイロンフィルムが堅調に推移したものの、OPPフィルムや多層フィルムは市況の影響を受け苦戦しました。エンジニアリングプラスチック分野は、OA向け製品が堅調に推移しましたが、半導体市場向けが苦戦しました。電子部品分野は、フィルム販売は減少しましたが、中国内販は堅調に推移しました。メディカル分野は、株式会社メディカルユーアンドエイの子会社化により増収となりましたが、米国向け縫合補強材の減少と治験費用等の増加影響を受けました。

以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は28,253百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益は2,790百万円(前年同期比11.7%減)となりました。

#### <アパレル事業>

インナーウェア分野では、レディスインナーは、ブランドリニューアルしたTucheが好調に推移しました。メンズインナーは、前年発売したBODYWILD「AIRZ」およびTシャツ専用のインナーウェア「in. T(インティー)」等の差異化商品に加えて、スポーツカテゴリー商品が順調に推移しました。レグウェア分野は、レギンスが堅調に推移しました。

以上の結果、アパレル事業の売上高は35,688百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は1,619百万円(前年同期比41.8%増)となりました。

#### <ライフクリエイト事業>

不動産関連分野では、ショッピングセンター事業は大型連休や夏休み期間を中心に堅調に推移し、賃貸事業においては新規物件が貢献しました。スポーツクラブ分野は、会員数の減少に歯止めがかかったものの新店舗の費用負担で苦戦しました。

以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は7,300百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は445百万円(前年同期比17.4%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、173,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,366百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金の増加2,314百万円、商品及び製品の増加1,673百万円、流動資産「その他」の増加1,399百万円（前渡金等）、有形固定資産「その他」の増加2,236百万円（建設仮勘定等）であり、主な減少要因は、投資その他の資産「その他」の減少1,418百万円（出資金等）であります。

負債は、64,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,913百万円増加しました。主な増加要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金増加5,167百万円であります。

純資産は、109,521百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,547百万円減少しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加2,159百万円であり、主な減少要因は、配当による減少1,995百万円、自己株式の取得等による減少953百万円、その他有価証券評価差額金の減少912百万円であります。

### (キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2,314百万円増加し、10,417百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して1,276百万円増加し4,890百万円となりました。主なキャッシュ・インの要因は、税金等調整前四半期純利益3,350百万円、減価償却費3,187百万円、売上債権の減少1,703百万円であり、主なキャッシュ・アウトの要因は、法人税等の支払額1,520百万円、たな卸資産の増加1,142百万円、仕入債務の減少1,280百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して1,923百万円増加し5,588百万円となりました。主なキャッシュ・アウトの要因は、固定資産の取得による支出4,238百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,080百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して4,857百万円増加し2,374百万円の収入となりました。主なキャッシュ・インの要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金による収入5,149百万円であり、主なキャッシュ・アウトの要因は、配当金の支払い1,987百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が概ね想定範囲内で推移していることから、2019年5月14日に公表した通期業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,102	10,417
受取手形及び売掛金	30,376	29,930
商品及び製品	20,082	21,755
仕掛品	6,413	6,857
原材料及び貯蔵品	4,635	4,822
その他	3,426	4,826
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	73,030	78,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,113	40,522
機械装置及び運搬具(純額)	9,897	9,357
土地	13,005	12,995
その他(純額)	2,466	4,702
有形固定資産合計	66,483	67,579
無形固定資産	2,143	1,962
投資その他の資産		
投資有価証券	19,170	18,466
その他	9,059	7,640
貸倒引当金	△254	△253
投資その他の資産合計	27,975	25,854
固定資産合計	96,602	95,396
資産合計	169,632	173,999

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,910	9,961
短期借入金	6,416	6,317
コマーシャル・ペーパー	6,200	11,600
1年内返済予定の長期借入金	2,101	2,191
未払法人税等	1,376	1,125
賞与引当金	1,314	1,371
その他	9,350	9,502
流動負債合計	36,669	42,070
固定負債		
長期借入金	10,972	10,748
退職給付に係る負債	5,534	5,336
長期預り敷金保証金	4,500	5,099
その他	886	1,223
固定負債合計	21,894	22,406
負債合計	58,563	64,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,754	6,727
利益剰余金	82,050	82,132
自己株式	△5,293	△5,925
株主資本合計	109,583	109,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224	△687
繰延ヘッジ損益	19	5
土地再評価差額金	△54	△54
為替換算調整勘定	745	456
退職給付に係る調整累計額	△1,011	△742
その他の包括利益累計額合計	△76	△1,022
新株予約権	260	212
非支配株主持分	1,301	1,326
純資産合計	111,068	109,521
負債純資産合計	169,632	173,999

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	68,566	71,027
売上原価	48,537	49,718
売上総利益	20,029	21,308
販売費及び一般管理費	16,772	18,017
営業利益	3,256	3,290
営業外収益		
受取利息	32	19
受取配当金	273	342
固定資産賃貸料	184	195
為替差益	265	-
その他	67	82
営業外収益合計	824	640
営業外費用		
支払利息	105	110
固定資産賃貸費用	169	175
為替差損	-	117
その他	144	172
営業外費用合計	419	576
経常利益	3,660	3,355
特別利益		
固定資産売却益	646	9
投資有価証券売却益	181	1
負ののれん発生益	0	21
受取和解金	-	128
その他	3	-
特別利益合計	831	160
特別損失		
固定資産除売却損	82	89
関係会社株式売却損	450	-
関係会社株式評価損	-	22
債務保証損失引当金繰入額	-	52
その他	0	0
特別損失合計	532	165
税金等調整前四半期純利益	3,959	3,350
法人税等	1,327	1,127
四半期純利益	2,632	2,222
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	63
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,546	2,159



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	2,632	2,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	672	△912
繰延ヘッジ損益	144	△13
為替換算調整勘定	△306	△297
退職給付に係る調整額	233	268
その他の包括利益合計	743	△954
四半期包括利益	3,376	1,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,315	1,211
非支配株主に係る四半期包括利益	61	57

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,959	3,350
減価償却費	3,243	3,187
のれん償却額	52	66
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	349	48
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	△2
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	-	52
受取利息及び受取配当金	△306	△362
支払利息	105	110
為替差損益(△は益)	△112	5
デリバティブ評価損益(△は益)	△111	-
固定資産除売却損益(△は益)	△564	80
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△181	△0
関係会社株式売却損益(△は益)	450	-
関係会社株式評価損	-	22
受取和解金	-	△128
負ののれん発生益	△0	△21
その他の特別損益(△は益)	△3	-
その他の損益(△は益)	△9	△32
売上債権の増減額(△は増加)	344	1,703
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,030	△1,142
その他の流動資産の増減額(△は増加)	160	92
仕入債務の増減額(△は減少)	△487	△1,280
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△166	538
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,123	△186
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△5	△64
小計	3,571	6,037
利息及び配当金の受取額	306	362
利息の支払額	△102	△117
和解金の受取額	-	128
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△161	△1,520
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,614	4,890
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△2,717	△4,238
固定資産の売却による収入	685	12
固定資産の除却による支出	△35	△50
投資有価証券の取得による支出	△583	△788
投資有価証券の売却による収入	676	482
子会社出資金の取得による支出	△1,336	△84
事業譲受による支出	△469	-
貸付金の増減額(△は増加)	50	35
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△108	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,080
その他	174	124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,664	△5,588

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及び商業・ペーパーの増減額(△は減少)	1,113	5,545
長期借入金の返済による支出	△350	△396
自己株式の取得による支出	△1,510	△659
配当金の支払額	△1,645	△1,987
非支配株主への配当金の支払額	△4	△33
その他	△84	△94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,483	2,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	△514	△107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,047	1,569
現金及び現金同等物の期首残高	9,477	8,102
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	571	744
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,001	10,417

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイティブ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,980	35,311	7,274	68,566	—	68,566
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40	97	52	190	△190	—
計	26,020	35,409	7,327	68,756	△190	68,566
セグメント利益	3,161	1,142	539	4,843	△1,586	3,256

(注)1 セグメント利益の調整額△1,586百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイティブ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,195	35,599	7,232	71,027	—	71,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58	89	67	216	△216	—
計	28,253	35,688	7,300	71,243	△216	71,027
セグメント利益	2,790	1,619	445	4,855	△1,564	3,290

(注)1 セグメント利益の調整額△1,564百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3. 四半期決算補足説明資料

#### ①当第2四半期(6ヶ月間)の業績等

(単位:百万円)

	当期 ( '19年4-9月)	前年同期 ( '18年4-9月)	増減 上段( )は 増減率
売上高	71,027	68,566	(3.6) 2,460
営業利益	3,290	3,256	(1.0) 34
経常利益	3,355	3,660	(△8.3) △305
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,159	2,546	(△15.2) △386
総資産	173,999	171,755	(1.3) 2,243
たな卸資産	33,436	31,966	(4.6) 1,470
固定資産	95,396	99,618	(△4.2) △4,222
純資産	109,521	112,715	(△2.8) △3,193
金融収支 (受取利息・配当)	252 (362)	200 (306)	52 (56)
(支払利息)	(△110)	(△105)	(△4)
設備投資	1,932	2,034	△102
減価償却	3,253	3,294	△40

#### <業績概要>

- 機能ソリューション事業は、株式会社メディカルユーアンドエイの子会社化により増収も、半導体市場の低迷やメディカル分野での治験費用等の増加影響を受け減益
- アパレル事業は、差異化商品の拡販と成長販路への取り組み強化に加え、消費増税に伴う駆け込み需要もあり、順調に推移し増収増益
- ライフクリエイイト事業は、不動産関連分野がショッピングセンター事業及び賃貸事業が堅調。スポーツクラブ分野は、会員数の減少に歯止めがかかったものの新店舗の費用負担が大きく、減収減益

#### <主たる特別損益>

- 受取和解金 1億円

#### <通期予想>

- 当第2四半期連結累計期間の営業利益が概ね想定範囲内で推移していることから、既公表の業績予想から変更していない
- 年間配当は1株あたり115円を予定(前期110円)

#### 【自己株式の取得等の状況】

取得した自己株式	216 千株	953 百万円
処分した自己株式	59 "	321 "
前期末に保有していた自己株式	1,220 "	5,293 "
当期末に保有している自己株式	1,377 "	5,925 "

※ 取得した自己株式には5月14日開催の取締役会決議による取得215千株、951百万円が含まれております。

※ 自己株式には「ゲンゼグループ従業員持株会専用信託」が保有する当社株式数を含めて記載しております。

#### ②事業のセグメント別業績

(単位:百万円)

		当期		前年同期		増減	
		金額	ウェイト	金額	ウェイト	金額	増減率
売上高	機能ソリューション	28,253	39.7	26,020	37.8	2,233	8.6
	アパレル	35,688	50.1	35,409	51.5	279	0.8
	ライフクリエイイト	7,300	10.2	7,327	10.7	△26	△0.4
	小計	71,243	100.0	68,756	100.0	2,486	3.6
	消去	△216		△190		△25	-
	連結合計	71,027		68,566		2,460	3.6
営業利益	機能ソリューション	2,790	57.5	3,161	65.3	△370	△11.7
	アパレル	1,619	33.3	1,142	23.6	477	41.8
	ライフクリエイイト	445	9.2	539	11.1	△94	△17.4
	小計	4,855	100.0	4,843	100.0	12	0.2
	消去	△1,564		△1,586		21	-
	連結合計	3,290		3,256		34	1.0

#### ③主要経営指標

(単位:百万円)

項目	当期	前年同期	増減	項目	当期	前年同期	増減
総資産営業利益率	% 1.9	1.9	-	自己資本比率	% 62.1	64.7	△2.6
総資産経常利益率	% 2.0	2.1	△0.1	自己資本四半期純利益率	% 2.0	2.3	△0.3
売上高営業利益率	% 4.6	4.7	△0.1	1株当たり四半期純利益	円 119.67	140.11	△20.44
売上高経常利益率	% 4.7	5.3	△0.6	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円 119.07	139.26	△20.19
				1株当たり純資産	円 6,027.10	6,164.63	△137.53

④キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

活動区分	当期	前年同期	増減	当期の主たる内訳
営業活動によるCF	4,890	3,614	1,276	税金等調整前四半期純利益3,350、減価償却費3,187、法人税等の支払△1,520
投資活動によるCF	△5,588	△3,664	△1,923	固定資産の取得△4,238、子会社株式の取得による支出△1,080
財務活動によるCF	2,374	△2,483	4,857	コマーシャル・ペーパーの増加 5,400、配当金支払△1,987
換算差額	△107	△514	407	
現金及び現金同等物の増減額	1,569	△3,047	4,617	
連結範囲の変更による増減額	744	571	173	
現金及び現金同等物の期末残高	10,417	7,001	3,415	

⑤事業部門の設備投資及び減価償却額

(単位：百万円)

		当期年間計画			前年同期		対前期増減	
		金額	ウェイト	2Q累計実績	金額	ウェイト		
※無形固定資産を含む	設備投資	(うち海外)	(300)		(61)	(288)		
	機能ソリューション	4,700	51.6	693	3,152	42.9	1,548	
	アパレル	(うち海外)	(300)		(98)	(398)		
	ライフクリエイト	1,400	15.4	265	1,335	18.2	65	
	全社	2,500	27.5	862	2,096	28.5	404	
	合計	500	5.5	111	761	10.4	△261	
	(うち海外)	(600)		(160)	(686)			
	合計	9,100	100.0	1,932	7,346	100.0	1,754	
※のれん償却額を含む	減価償却費	機能ソリューション	2,400	36.9	1,197	2,665	40.1	△265
	アパレル	1,500	23.1	656	1,342	20.2	158	
	ライフクリエイト	1,800	27.7	1,016	2,073	31.2	△273	
	全社	800	12.3	383	568	8.5	232	
	合計	6,500	100.0	3,253	6,650	100.0	△150	

【当期の主要投資計画】

- ・ エンジニアリングプラスチック  
生産設備 2,500百万円
- ・ 商業施設整備及び賃貸住宅新築 2,300 〃
- ・ プラスチックフィルム生産設備 1,800 〃
- ・ インナーウェア生産設備 800 〃

⑥通期業績予想

(単位：百万円)

	当期予想	前年同期	増減	
			金額	増減率
売上高	147,000	140,706	6,294	4.5
営業利益	7,000	6,690	310	4.6
経常利益	6,800	7,152	△352	△4.9
親会社株主に帰属する当期純利益	4,300	4,087	213	5.2

⑦セグメント別 通期業績予想

(単位：百万円)

		当期予想	前年同期	増減
売上高	機能ソリューション	58,300	53,234	5,066
	アパレル	73,300	72,609	691
	ライフクリエイト	15,900	15,285	615
	小計	147,500	141,129	6,371
	消去	△500	△423	△77
	連結合計	147,000	140,706	6,294
営業利益	機能ソリューション	6,300	6,160	140
	アパレル	3,000	2,507	493
	ライフクリエイト	1,300	1,241	59
	小計	10,600	9,908	692
	消去	△3,600	△3,218	△382
	連結合計	7,000	6,690	310

※2019年5月14日に公表した通期業績予想からの変更はありません。